

最上小国川清流未来ニュース

平成 30 年 3 月 26 日 発行
最上小国川清流未来振興機構

第11号

最上小国川清流未来振興機構は、平成 27 年 4 月に策定した「最上小国川清流未来振興計画」に基づいて様々な取り組みを行っています。今回の最上小国川清流未来ニュースでは、こうした取り組みの動きについてご紹介します。

アユの中間育成が始まりました！



約 5 5 万匹のアユが搬入されました。



「最上小国川清流未来振興計画」において「アユ等の放流」に力を入れています。鶴岡市三瀬で飼育されてきたアユの稚魚が舟形町鮎中間育成施設の池に、3月1日から9回に分けて搬入されました。搬入された稚魚は、最上小国川などで取れた親鮎から採取した卵をふ化、飼育し、1gほどに成長しているものです。飼育期間中は、成長にあわせて「えさ」の量を調整し、病気にかからないよう毎日鮎の様子を注意深く観察しながら育てていきます。

今後は、5月に最上小国川への「稚魚の放流」や9月に「ふながた若あゆまつり」で提供していく予定です。

サケ赤ちゃん、元気に育って戻ってきてね

3月8日には小国川漁業協同組合主催による、サケ放流教室が行われました。舟形町のほほえみ幼稚園と最上町の大堀保育所の児童約 50 名が体長 7 センチほどの稚魚を最上小国川につながるふ化場の水路に放流しました。

地域の子どもたちが川に親しみと感心を持ってもらえる取り組みになるようにと考えています。



赤倉温泉街のさらなる観光交流拠点に！ 4月30日（月・祝）リニューアルオープン！



※写真はイメージ図です

赤倉温泉の旧せんしん館が「『おくのほそ道』赤倉ゆけむり館」として平成30年4月30日（月・祝）にリニューアルオープンします。

大露天風呂はもちろん、内湯や貸切風呂も備えており、また温泉のみならず、産直や交流スペースを備えた赤倉の新しい日帰り温泉施設です。

また、館内の情報発信スペースに大型モニターなどを備え、流水型ダムを紹介やライブ映像、河川・道路などのリアルタイム情報、最上小国川沿いの魅力や見どころを四季折々の映像で紹介します。

施設名：「おくのほそ道」赤倉ゆけむり館
住所：〒999-6105 最上町大字富沢 817-1
電話番号：0233-45-3533
営業時間：9：00～22：00（最終受付 21：00）

入浴料金：一般 450 円、中学生 200 円、
小学生 100 円、小学生未満 無料
定休日：第 2・4 水曜日

「6次産業化の推進」において、県では、地域資源を活用した新たな6次産業化への取組等を支援するため「元気な6次産業化ステップアップ支援事業（スモールビジネス創出支援事業）」等の活用を支援しています。

—今シーズンは6月初旬からオープン予定—

「白川みつわ会」（最上町）

日本一のオオアカマツとカツラがある最上町東法田「白川みつわ会」では、地元食材を使ったおいしい「田舎そば御膳 1,300 円」やご予算に応じた「季節の定食」を提供しています。

事前予約でそば打ち体験もできますので、興味のある方は是非お問い合わせください。
～そば畑オーナーも募集中～



営業時間

11:00～14:00

要予約

3日前まで

予約 TEL:

090-1934-7222

【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構（山形県最上総合支庁総務企画部総務課連携支援室内）：29-1240

※ 最上小国川清流未来振興機構のホームページでも、流域での地域づくり活動・観光情報などを掲載していますので、是非ご覧ください。（<http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>）